

石川九楊大全

厳選三百点、言葉と格闘する書家の軌跡

前期・後期、全作品総掛け替えの大個展

石川九楊大全

2024年 6月8日(土)~30日(日)

前期【古典篇】

遠くまで行くんだ

[入場料] 当日券●一般・大・高生2,000円 前売券●1,800円

数量限定 お得なセット券●2枚で3,000円。販売期間6月7日(金)まで

※【古典篇】【状況篇】それぞれに入場券が必要です。

[チケット取扱] ARTPASS、チケットぴあ (Pコード 686-885)、ローソンチケット (Lコード 31934)、イープラスなど各プレイガイド・コンビニ店頭にて

※購入時に手数料がかかる場合があります。

※中学生以下入場無料、障がい者手帳をお持ちの方と付添の方一名無料。

[開館時間] 10時~17時 (入場は16時30分まで、各会期中無休)

※7月1日、2日は展示替えのため休館いたします。

詳細や最新情報については公式ウェブサイトにてご確認ください。



[主 催] 石川九楊大全実行委員会/日本経済新聞社/上野の森美術館

[協 賛] 株式会社思文閣/サントリーホールディングス株式会社/八海醸造株式会社/
三洋化成工業株式会社/笠原健治 (株式会社MEXI フォウンダー)/株式会社グラフィック/
株式会社SCREEN グラフィックソリューションズ/株式会社モリサワ/キンキダンボール株式会社/
吉田浩一郎 (株式会社クラウドワークス)/株式会社 サンエムカラー/大塚オーミ陶業株式会社/
京都精華大学[協 力] 株式会社ほほ日/株式会社竹尾/株式会社ニルヴァ書房/株式会社左右社/
市之倉さかづき美術館/文字文明研究所上野の森美術館
THE UENO ROYAL MUSEUM

2024年 7月3日(水)~28日(日)

後期【状況篇】

言葉は雨のように降りそそいだ

書を世界大スケールの表現に深化させた、石川九楊の全書業を一堂に。

前期「古典篇」 遠くまで行くんだ

既成の書的情緒を否定・拒絶してきた九楊が、なぜ古典文学に挑んだのか――。

2024年 6月8日(土)~30日(日)



書とは言葉の表現であり、ゆえに書は文学である――
現代における書の美をひたすら追究し、言葉と格闘し続けてきた九楊の全軌跡。
代表作ほか初公開を含めた膨大な作品群をラインアップ、
前期・後期に分けたロングラン展覧会としてご案内します。

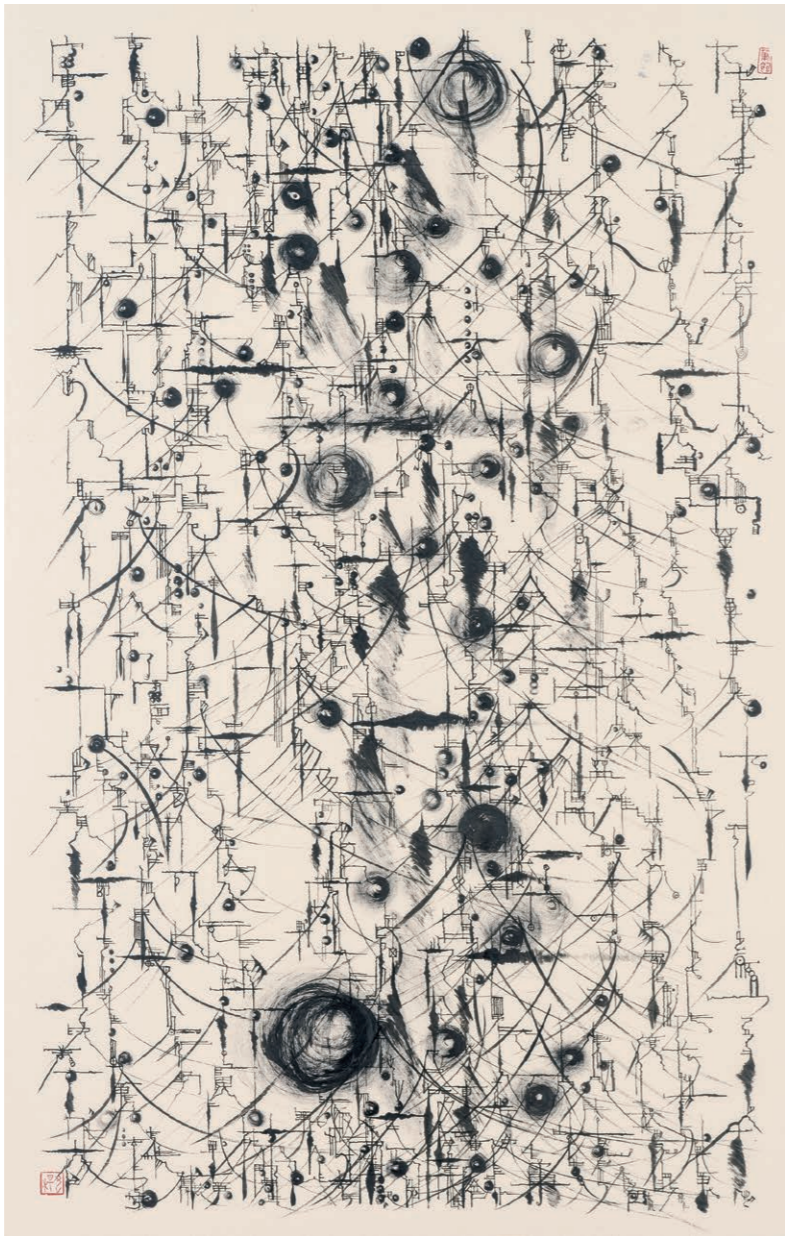


石川九楊 ● いしかわ きゅうよう
1945年福井県生まれ。京都大学法学部卒業。京都精華大学名誉教授。5歳から書塾に通い、京大在学中は学生書壇で活躍。1978年書に専念するため石川九楊研究室を設立。「筆蝕」や「書の文学的表現」に着目した独自の書論を展開。1990年、『書の終焉』でサントリー学芸賞、2002年、『日本書史』で毎日出版文化賞、2009年、『近代書史』で大佛次郎賞を受賞。制作作品は2,000点以上、著作刊行は100点を数える。

後期「状況篇」 言葉は雨のように降りそそいだ

書は「文字を書くのではなく、言葉を書く表現」である――。

2024年 7月3日(水)~28日(日)



▲「徒然草 No. 22」
一九九三年、95×62cm
No.23まである徒然草シリーズの総仕上げにあたる作品。同シリーズはこれまで基本的に横長の紙面に展開されてきたが、ここでは縦長に伸長した紙面のなかに「白い歎異抄」と「黒い歎異抄」を混在させ、狂おしいまでの「逆説」の世界を表現している。

◇ 中国唐代の「天折の天才詩人」李賀の詩を、東アジア特有の美学であるニジミを多用して作品化したシリーズ

◇ 「萬葉歌」をはじめ「徒然草」「方丈記」「枕草子」や、「良寛詩」など日本の古典・近代文学作品群

源氏物語54帖に表題だけで本文のない「雲隠」帖を加えた全55点からなる「源氏物語書巻」シリーズ

タプーへの挑戦を模索していた時代の代表作「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」や、85mに及ぶその続編「エロイエロイラマサバクタニ又は死篇」などの超大作

◇ 「句が書であり書が句である」と評する自由律俳句の俳人・河東碧梧桐の句からなる「碧梧桐一〇九句選」

◇ 9・11事件や東日本大震災、東京オリンピック、戦争、領土問題など、いま世界で頻発する危機をテーマとした自作詩文作品

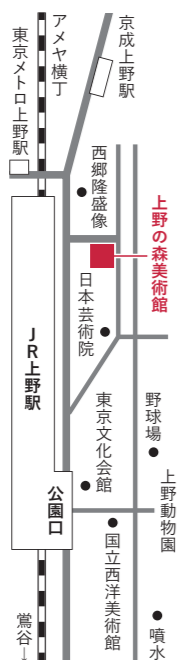
▲「ヨーロッパ」の戦争のさなかに
二〇一三年、95×60cm
ロシア・ウクライナ戦争を題材に「なぜ戦争はなくなるのか」と問いかけた最新作の一つ。これまでに獲得した技法を総結集して作品化。中央上下に走る黒い円は砲弾か、「9・11」作品以降、現代社会を痛撃する自作詩文作品を発表し続けている。

石川九楊大全

詳細や最新情報は公式ウェブサイトにてご確認ください
shikawakyuyoh-raizen.com



上野の森美術館 THE UENO ROYAL MUSEUM
JR上野駅 公園口より徒歩3分 / 東京メトロ・京成電鉄上野駅より徒歩5分
東京都台東区上野公園1-2 www.ueno-mori.org



講演会 石川九楊「書は文学である」筆蝕論の総仕上げ『悪筆論』を語ります。
7月7日(日)18時~ 出演●石川九楊 場所●上野精養軒 桜の間
料金●一般2,000円 チケット購入はこちら



音楽会 書譜楽「歎異抄No.18 / いはんや悪人をや」石川九楊の書「歎異抄No.18」から音を取り出し演奏する試みです。
6月14日(金)18時~ 出演●石川九楊(挨拶)、スコット・アレン(電子音楽奏)、カルテット・オリーブ(弦楽四重奏)
場所●旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園) 料金●一般3,000円 / 学生2,500円 チケット購入はこちら

